

全部

委員会名	平成29年度第2回 足立区男女共同参画推進委員会
日時	平成29年8月2日(水) 午後2時～4時
会場	L・ソフィア 会議室
出欠状況	委員現在数13名 出席者数10名
出席者	<p>【委員】</p> <p>石阪督則委員長・中川美知子副委員長・乾雅栄委員・長谷川幸恵委員・鈴木房世委員 清水典子委員・遠藤美代子委員・西村真海委員・中村稲子委員・高祖常子委員</p> <p>【事務局】</p> <p>下河邊純子区民参画推進課長、望月孝志男女共同参画推進係主任主事、 宇根紅桃男女共同参画推進係主事、信原典子共同参画指導員</p> <p>【傍聴者】なし</p>
会議次第	別紙のとおり
配布資料	<p>1 平成29年度第1回推進委員会の要点及び議事録</p> <p>2 第7次足立区男女共同参画推進行動計画(簡易版)</p> <p>3 第6次足立区男女共同参画推進行動計画の体系図</p> <p>4 男女共同参画に係る庁内事業獅子状況調査票</p> <p>5 平成27・28年度重点課題ヒアリング対象課一覧</p> <p>他 男女共同参画に関する区民及び区内大学生意識調査報告書 男女参画プラザ区民企画チラシ等</p>
発信者(敬称略)	議 事 内 容
石阪	<p><b>1. 定足数の確認、前回の振り返り</b></p> <p>現在6名だが、1人が10分の遅刻で出席なので、定足数7を満たすものとする。 (委員会終了までに、10名が出席)</p>
下河邊	<p>2枚目以降に前回の議事録を添付した。規則によりHPにて公開になるので、内容を確認し、 修正がある場合には1週間をめどに連絡をして欲しい。</p>
下河邊	<p><b>2. 「第7次足立区男女共同参画行動計画」策定の進捗状況及び策定スケジュールの変更について</b></p> <p>計画は推進委員会で意見をいただきながら、区長が策定をする。基本目標は4、取り組みの方向性は42ある。ただいま、各所管と意見交換を含めたヒアリングをしている。当初は6月頃の完成を目標としていたが、策定期間を3月に変更をさせていただきたい。 今後は男女共同参画推進会議という庁内会議を経て、11月にパブリックコメントを実施する。この間の進捗については、随時推進委員会に報告をしていく。</p>
石阪	<p>基本目標に「足立区配偶者暴力対策基本計画」とあるが、他の計画とセットにして計画を作っている自治体が多い。DVと女性活躍推進をセットにして足立区でも作っていく。 また、6次の計画をもとに、7次の計画を作っている。足立区の喫緊の課題を頭出しして、7次を作っており、課題がわかりやすくなっている。足立区は行動計画として具体的に範囲が狭くなったともとれるが、実行性があるのではないかとも思う。</p>

### 3. 「年次報告書」について

#### (1) 課題への意見出し

石阪 推進委員会では毎年、区に提言をするということになっている。資料4を見ると、男女共同参画の分野でかなり幅広く事業を行っている。これをもとに、特に足立区として重点的に取組むものを考えていきたい。この表は、第6次計画の体系に基づいて作られている。皆さんからコメントがあればこの表の最終列に附されることになる。

#### (企業のワーク・ライフ・バランス)

下河邊 平成23年度の認定企業目標数は100社としていたが、平成27年度から量より質ということで労働条件審査を加えた。当初の目標からは離れているが、質の確保という点ではできているのではないかと思う。

高祖 企業からの認定申請があって絞り込んで52社であればよいが、そもそも申請がない状態ではしょうがない。申請を増やすようにしていただきたい。

下河邊 企業への周知という点ではまだまだ課題が多い。セミナー等では周知しているが、それに参加していただく企業も少ないので、集客も力をいれていかなければいけない。

高祖 推進ハンドブックの配布先及び数は？

下河邊 2000部ほど印刷して、企業で配布をしていただいたり、中小企業支援課のマッチングクリエイターが企業訪問で持っていきたりしている。活動は企業に対して行っている。

#### (保育所について)

石阪 今年度の目標で、認可保育所の施設数110の見通しはたっているのか。

下河邊 待機児アクションプランに基づいて行っているの見通しはたっている。

石阪 認証保育所定員が減って認可保育所の定員が増えているようだ。

高祖 この今年度目標がクリアできれば待機児問題はクリアできるのか？

下河邊 数ではクリアできるが、希望の地域や施設にミスマッチがある。また、定数が増えると希望者も増えるという、いたちごっこでもある。保育コンシェルジュという制度があり、その活用によりミスマッチは減ってきてはいる。

石阪 ミスマッチは確かにある。0・1歳児の需要は特に多い。また、保育所を作るにしても、さまざまな基準があり、物件が確保できないという話もある。

下河邊 保育士の人材不足もある

石阪 保育士不足の問題もあるが、量だけでなく質も考えていかななくてはならない。

#### (女性の再就職支援)

石阪 皆援隊の状況はどうか？

下河邊 誰にでも幅広くということではなく、講座の対象を活動意欲のある人に絞っている。実践を重視しているので、講座から実際の活動に結び付く人は増えている。

石阪 ひとり親プログラムとはどういうものか？

下河邊 所管課に確認をする。

清水 キャリアアップ支援や再就職支援講座の昨年度実績がないのはどういうことか？

下河邊 講座は、分野を絞って行うことにしている。そして、女性の就職については、就労支援課で行っている。

高祖	女性の再就職とキャリアアップは実質的には異なるもので、マミートラックなどの問題もある。再就職をしたい母親を引き上げたり、働きたい人向けのコミュニケーション講座などもやってもらいたい。
	あだち子育て応援隊の月ぎめ預かり事業とはどのようなものか？
下河邊	子育てホームサポートとファミリーサポートが一緒になり、あだち子育て応援隊となった。これも待機児対策の1つとして始まった。
長谷川	「ひとり親家庭への教育訓練費助成」事業では、資格をとってどの程度就労できたか？また、これだけだと資格が取れたかどうかも分からない。
下河邊	親子支援課に確認する。
	<b>(男性のワーク・ライフ・バランス)</b>
石阪	「おやじの会」が区に言えば何らかの支援をしてくれるのか？
下河邊	おやじの会に対し、人的な支援など区が何かをするというのはなく、自主的な活動を促している。
石阪	おやじの会が何を行っているのか、区の支援は本当はないのかを知りたい。
下河邊	青少年課に確認する。
高祖	「父親ハンドブック」は事業廃止になっているが、もう作らないのか？
下河邊	子育てハンドブックに父親の記載があるので、そちらに統合されていると思う。
高祖	足立区では母子手帳配布時に面談をかなりやっているが、子育てハンドブックに父親に関する項目が入っているならば、ページをきちんと伝えるか、別に父親用を配布してほしい。
事務局	保健センターでの配布時は保健師がきちんと伝えているが、区民事務所ではただ渡すだけになっているようだ。
高祖	やはり、父親向けも別に作ってもらいたい。
石阪	パパプロジェクトや父子料理教室なども一緒に掲載して、区で行っていることを体系的に案内すると思う。
	<b>(政策・方針決定過程への女性の参画)</b>
石阪	区では、職員の女性管理職比率の向上にも取り組んでいるのか？
下河邊	今年度から育児休業中の職員も昇任試験を受験できるようにした。
高祖	管理職の女性比率については、区長も力を入れていると聞いている。
	区の職員の働き方改革もしてもらいたい。ファザーリング・ジャパンでも後押ししているが、首長が「イクボス宣言」をしたりもしている。自治体が男性の育児休業取得率を上げることで、民間にも広がると思う。
石阪	個人的には管理職のインセンティブをもっとつけるべきだと思う。課長になりたいと思えるような課長職を作らないといけない。特に女性サイドからすると負担感ばかりになってしまうと思う。区は民間よりも、ともすれば遅れているかもしれない。最初は職員から文句もでるかもしれないが、やっていかないといいない。
	行政から発信していいかないといけない。行政から仕事を請け負っている業者も時間外に連絡が来るといことも現にあるかもしれない。
	区長のイクボス宣言はいいと思う。
長谷川	ハローワークのワーク・ライフ・バランスのセミナーは人気がある。男性も一緒にこれを聞いてもらわないと理解が得られず、女性は働けない。

石阪	<p>夫婦同伴講座にして、ワーク・ライフ・バランスや家事の役割分担なども話していくといい。パパ講座して、何回かの中でワーク・ライフ・バランスを入れていくといいかもしれない。夫婦同伴講座にするとママがパパを連れてくるので、男性も来てくれるかもしれない。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスで残業が減ると給料も減るので、嫌がる男性・女性もいるかもしれない。</p> <p>男性の給料が減ってもワーク・ライフ・バランスで女性も働けるようになれば世帯収入は上がるという考え方を広めていくといいと思う。</p> <p>今年度の「男と女のホンネでふぉーらむ」でそのような話をしたときに、すでに学生はそのような考えを持っていた。世代間の差はあると思う。</p> <p>学生は、課長になってもメリットがないという損得で考えている面もあるかもしれない。若い世代はシビアで、趣味などを大事にしている。</p> <p>企業としても残業代を削減できればその分を従業員に還元できる。</p> <p>ただワーク・ライフ・バランスをするのではなく、どうすれば収益を落とさずに取り組めるかをあわせて伝えていくようなセミナーをしていくといいと思う。</p> <p>最近ではワーク・ライフ・バランスは経営戦略として伝えている。</p> <p>企業は人材の定着率にはこだわっている。そのあたりのメリットも伝えていけるといいのではないか。</p>
中村	<p>この委員会はもう8年も出ているが、委員が変わっても同じような課題がある。今出ている要望は昔と同じである。議論してきたものが、どこまで解決されたのか。やはり、男性が変わらないと世の中は変わらないと思う。介護離職もあるので、介護の問題は大きいと思う。</p> <p><b>(DV)</b></p>
高祖	<p>外国人相談が0件なのはどういうことか。DV相談の8カ国語のカードを作るなどあるか？</p>
下河邊	<p>区の通訳は、英語・中国語・韓国語だがあくまで区民相談の通訳を行っている。なかなか多言語対応はできてきかない。ボランティアもあるが、利用は難しいと聞く。</p> <p>チラシやリーフの3ヶ国語くらいの多言語化はできるかもしれない。</p>
高祖	<p>DVに限らず外国人の親に連絡が届かないこともあるので、情報提供の仕方も考えてほしい。</p>
	<p><b>(2) 内容の抽出課題に関する自由討議・意見交換</b></p>
中川	<p>子育てには関心がある。貧困の話聞いて、いろいろな課題とつながっていることが分かった。</p> <p>新聞で読んだことがあるが、高校で妊娠してしまった子に対して、この後の授業料を支援する取り組みもあるそう。足立区は中退が多い。区でも何かできるのでは？</p> <p>中退してしまうと、先生の責任ではなくなってしまう。その後のサポートが必要では？</p>
西村	<p>母親の話聞くと、やはりワーク・ライフ・バランスが必要ではないか？今は夏休みだが、子どもを家において仕事に行っている。また、虐待を受けている子も結構いる。こちらでは何もできないので、行政に頼るしかない。</p> <p>学校教育を取り巻く現状は昔とは違っており、ワーク・ライフ・バランスや虐待が課題になっている。</p>
石阪	<p>国の第4次男女共同参画基本計画では、男性の働き方を変えなくてはいけないということになっている。</p>

石阪	中小企業の社長と話したが、働いてなんぼという考えの人もいて、世代間の違いはある。足立区もワーク・ライフ・バランスの分野で働き方の見直しも必要だと思う。働き方改革の所管はどこか？
下河邊 遠藤	ワーク・ライフ・バランスの切り口だと区民参画推進課だが、職員の働き方だと人事課になる。自分の会社で長をしている女性に子どもができて休むことになったが、長が休むので下についていた若い男性が仕事を1人ではできないということで辞めてしまった。ただ、保育園などに子どもを預けることができないとさらに休むことになる。始めにその方に仕事を任せると決めただけで、活躍してもらいたいのが難しい面もある。将来的には元気な高齢者ができるので、高齢者施設で小さい子を預かるなどができるのではないかと。
石阪	そのような取組みは、地方ですでに結構ある。高齢者と子どもは所管が違うので難しいかもしれないが、新たな仕組みを作っていくと難しい。都議会議員選挙でもテーマになっていたが、保育の問題は考えていかないといけない。
長谷川	親同士で互いの休みに子どもを預けられるなど、働く母親同士のコミュニケーションや助け合いも可能ではないか。
石阪	インフォーマルな場面ではやっていることだが、孤立していると難しい。皆援隊は定年後の人を対象としているので、そのような方をお願いできるのではないかと。いくら保育園を作っても追いつかないので、ソフト面でやっていくしかない。
清水	女性のキャリアアップ支援事業は縮小されていたが、女性のライフプランは様々である。子どもや介護などさまざまな局面で仕事を辞めないですむような支援があるといいのではないかと。平成30年度に講座の委託業者の切り替えがあるので、そこでの計画にも入れていきたい。
長谷川	この区の事業実施状況を見て、ハローワークがワーク・ライフ・バランスや就労、ひとり親の支援など、もっと色々なところに出てきてほしいと思った。ワーク・ライフ・バランスは女性だけでなく、男性の働き方を変えていかないといけない。
石阪	最近、男性首長がイクボス宣言をするなどしている。自治体としても、きっかけ作りをしていかないといけない。 イクボス宣言はするだけでもだいぶ違い、したことによって周りの見方が変わるので効果はあると思う。
	<b>(今年度の重点課題の抽出)</b>
石阪	働き方については、委員みなさんの共通事項であった。庁内を含めた具体的なワーク・ライフ・バランスへの提言を踏み込んでやっていきたい。また、働き方は保育の問題とも関係している。働き方は企業の社長と区役所を両方含めてやっていかないといけない。家事・育児を含めた男性のワーク・ライフ・バランスをやってほしいかもしれない。この1年男性の問題を重点的にやるということで、「1 中小企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進」「2 男女の多様な働き方への支援」「5 男性の家事・育児への参加」「6 男性の地域活動への参加」を重点でどうか？ ---委員一同了承---

事務局	<p><b>4・ヒアリング実施課の確認及びヒアリング内容等について</b></p> <p><b>(1)ヒアリング実施課</b></p> <p>就労支援課で講座の内容や成果、どれだけ就労に結びついたかを聞いてみたい。 夏休み子どもへの対応などを具体的に聞いてみたい。 夏休み1日でもよいので住区センターで小中学生をみてくれないかという依頼がきた。 住区運営委員会が学童の委託も受けている。住区センターでは、児童館や悠々館の事業も行っている。 では、住区推進課も対象にする。</p> <p><b>5・事務連絡</b></p> <p>「男女共同参画に関する区民及び区内大学生意識調査」や配布したチラシは後程確認していただきたい。 謝礼の支払いに伴い、年末までにマイナンバーを確認させていただき旨をお願いします。また、次回の開催は、9月6日に第2学習室で開催することとなっている。</p> <p>これにて閉会する。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------